

<目次>



- p. 1 . . . BLMC 会員の皆さまへご挨拶
- p. 2-5 . . . BLMC 新副会長 井本 万正 さまのインタビュー
- p. 5 . . . 会員様の情報
- p. 5-8 . . . 大使館・各団体からのお知らせとニュース
- p. 8-14 . . . 総会とネットワーキングの写真

BLMC 会員の皆様

暑中お見舞い申し上げます。

先月開催されました総会では、全ての議案が無事に可決されました。お忙しい中ご参加くださった皆様に心より御礼申し上げます。当日は、旧副会長であられた筒井様のご尽力により、EU 代表部のイザベル・ストブレア参事官をお迎えし、EPA（経済連携協定）に関するご講演を賜りました。大変興味深く、有意義なお話を伺うことができ、改めて心より御礼申し上げます。

なお、本総会をもちまして、筒井様はご高齢を理由に副会長の職を退かれることとなりました。これまで長きにわたり、当会の発展に多大なるご貢献を賜りましたことに、深く感謝申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

さて、今回のニュースレターは、当会の新しい副会長に就任された、現在「ソルベイ・スペシャルケム・ジャパン株式会社」でコンサルタントをされている井本万正さんにインタビューを行いました。



左から井本氏（新副会長）・筒井氏（旧副会長）

～新副会長のご紹介ソルベイジャパン出身の井本氏～

～今日はお忙しい中お時間をありがとうございます。

早速ですが、簡単なお経歴と、ソルベイジャパンでの役割をご紹介いただけますか？

大学卒業後、1983年にフランスの国営化学会社であるローヌ・プーラン社の日本法人に入社しました。同社が東洋紡株式会社との合弁事業を有していた関係で、1994年に東洋紡へ転籍することとなり、メディカル、樹脂、マーケティング、事業企画室などの職を、歴任しました。2010年にローヌ・プーラン社時代の上司（当時ローディアに社名変更）よりローディアに戻るよう誘われ、2011年にローディアのグループ会社である阿南化成株式会社に入社しました。しかしその年にローディアがソルベイ社に買収されたことにより、そこからソルベイとの関りがスタートしました。



左から産総研理事長（元ソニーの社長）・NEDO 理事長（元三菱化学の社長）・ソルベイの CEO・井本氏 2013年に阿南化成（後のソルベイ・スペシャルケム・ジャパン）の社長に就任し、レア・アース事業に携わってきました。2018年にはソルベイグループ5社の中核を成すソルベイジャパンの社長に就任し、カントリーマネジャーとしてグループの運営に当たりました。2022年末にカントリーマネジャーの職を辞し、2023年は1年間顧問としてグループをサポートしたのち、現在はソルベイ・スペシャルケム・ジャパンでコンサルタントとして、レアアース事業のサポートを行っております。

～ソルベイといえば、アインシュタインやキュリー夫人が参加した歴史的な『ソルベイ会議確』が有名ですが、社員の間でその歴史が意識されたり、あるいはそれに関連した社内イベントがあれば教えてください。

もともとフランスの企業文化で育った私ですが、経営の一線を離れたエルネスト・ソルベイが人類の発展を願い、科学（物理・化学）の将来へ注いだ情熱やその膨大なエネルギーを知るにつけ、この人物とこの会社の虜となっている自分を発見するまでに、さしたる時間は要しませんでした。「ソルベイ会議」が‘23年にユネスコの世界の記憶に登録されたことは、我々が大いに誇りとするところです。



<共同研究契約を2019年に締結>

左からソルベイ副社長・産総研理事長（元ソニーの社長）

2018年にカントリーマネジャーに就任した際に注力したことは、日本の持つ高い技術力をベルギー及びソルベイへ結ぶことにより、地球規模の課題解決に繋げることでした。具体的には、我が国最大の国立研究所である産業技術総合研究所（産総研、経済産業省所管）の中鉢良治理事長（当時、元ソニー社長）と旧知の関係にあったことから、ソルベイとの間で共同研究契約



を2019年に締結することに成功し、CO₂排出削減など、持続可能な社会の構築に寄与する長期の共同研究に取り組む国際協調活動を始動させました。

そして、「ソルベイ会議」にならい「Solvay Convention」というイベントを、毎年ベルギー大使館のホールで開催してきました。大使のご協力のもと、現林官房長官を来賓に迎え、産総研・NEDOの理事長、理研の理事長、京都大学の学長、ノーベル化学賞受賞者の野依良治先生などをスピーカー、パネラーとしてお迎えし、「化学の将来」について語るシンポジウムを開催してきました。観客には日本を代表する化学企業100社の社長、役員クラスをお迎えし、科学をテーマした産官学による交流の場になったのではないかと、自負しております。

2022年には産総研との契約を更に一步先に進め、科学人材を育てる教育分野においても協業をスタートさせました。具体的には、「STEM (Science, Technology, Engineering, and Mathematics) 教育×DEI (Diversity, Equity and Inclusion)」を目的に連携し、Astrid王女ご列席の元、2022年12月5日付けで連携確認書 (Letter of Intent) に署名しました。具体的には、ソルベイ、産総研の若手技術者 (女性中心) 数名を互いの施設で受け入れ、国境を越えて協働する経験を得てもらおう取り組みです。



創業者のエルネスト・ソルベイの館 今もソルベイの施設

井本さんが感じる日本とベルギーのビジネス文化の違いは何ですか？日本企業がベルギー市場に進出する際に特にどんなサポートがあれば良いですか？

それぞれの歴史や文化・伝統によって、お互いに特徴的な経営スタイルを築きあげています。端的に言えば、西欧型が戦略的アプローチに長け意思決定スピードが速く、結果主義的であるのに対し、日本は長期的経営視点と漸進的改善活動に強みを有し、ハイコンテクスト文化に特徴があると言えると思います。両者をいいとこ取りする理想のフォーミュラは「和魂 x 洋才」ではないか、というのが私の持論です。

質問に戻りますが、日本企業がベルギー市場に出る場合最も重要な事は、西欧市場、ベルギー市場とはどういうものか、日本市場とは何がどう違うのか、歴史的、文化的、伝統的背景を踏まえて認識することが、まずは出発点となります。そこを正しく理解していないと、感情的なわだ



かまりや、無用な軋轢を生むことになりかねません。それが出来た上で、自分がベルギー市場で何をしたいのかを具体的にビジョンに落とし込むことが出来れば、おのずと何が足りないか、どうすれば補えるかが、見えてくるものだと思います。

-日本企業にとって、ベルギー市場が持つ魅力をどう伝えていきたいですか・

日本企業にとってのベルギーの魅力というのは業界によっても異なってくると思いますが、私が身を置く化学業界で言いますと、ベルギーのアントワープは欧州において最も化学集積度が高い都市です。大きな港を擁し、大陸からのパイプラインも整い、洋上風力によるエネルギー供給に不安もない、拠点化を目指すには最適な立地だと考えます。これは他の業界にも共通する利点ですが、ベルギーは欧州の中心に位置していることにより、物流の拠点としても理想的です。また、なんといっても良質な人材こそが最大の魅力と言えますが、多言語国家により言語的な対応力の高さも特徴の一つに挙げられるでしょう。

私は門外漢ではありますが、チョコレートやビール、ダイヤモンドなどこの国が強みを有するこれらの分野においては、その魅力が圧倒的であることは間違いのないと思います。

-バイクにお乗りになると伺いましたが、日本とヨーロッパでのツーリングにはどのような違いを感じられましたか？特に印象に残っているルートや風景があれば、ぜひ教えてください。

バイクは16歳で免許を取って以来、50年以上乗り続けています。初めてバイクに跨って以来その熱から覚めることなく、未だに衰えることない病に冒されたままです。その魅力を論理的に説明することは難しいのですが、敢えて言うとしたら、「ロール軸と一体となってコーナーを駆け抜ける爽快感」ということになると思います。

これまで、どれだけのバイクに乗ってきたのか、もはや自分でも覚えていません。ピーク時は5台のバイクを同時に所持していましたが、今は1250CCのBMWと50CCのカブの2台です。海外駐在をした事は無く、ヨーロッパでのツーリングの経験はありませんが、アルプス（ステルビオ峠）を越えてイタリアに向かうルートは、生涯で一度は走ってみたい場所ですね。カナダでは20年前にブリティッシュコロンビア州を旅したことがあるのですが、今年の9月にはカナディアンロッキーを走る予定にしており、今から楽しみです。

日本では未だ北海道をバイクで走ったことがないので、健康年齢と相談しながら、優先度を上げて対応していきたいと思っています。



BLMC 事務所の前にて

-最後に、座右の銘と、会員の皆様に一言メッセージをよろしくお願ひいたします。

好きな言葉は、

「雲のかかるは月のため。風が散らすは花のため。雲と風とのありてこそ、

月と花とは尊けれ。」 一熊澤蕃山一

「夢は逃げない、逃げるのは自分」一作者不詳一

「事足れば 足るにまかせて 事足らず 足らで事足る 身こそ安けれ」一作者不詳一

2011年以降、ご縁を頂いてベルギーと深くかかわってまいりました。また、17年間日本企業（東洋紡）に在籍し、外資と日本企業を等分に経験してきました。それらの経験を踏まえ、ベルギー・ルクセンブルグと日本との懸け橋となるべく、及ばずながら微力を注ぎたいと思います。

-本日はご多用のところ、また暑さ厳しき中、貴重なお話をお聞かせいただき誠にありがとうございました。今後、副会長としてますますご活躍されますことを心よりお祈り申し上げます。

<会員様の情報>

住友化学株式会社様が、6月に一般社団法人日本化学工業協会（以下、日化協）より、第19回レスポンシブル・ケア賞の「RC 審査員特別賞」を受賞いたしました。受賞テーマは、愛媛県新居浜市などと共同で実施したアクリル製飛沫防止板の地域内資源循環『MICAN（みかん）プロジェクト』です。

今回の受賞は、住友化学がアクリル樹脂のケミカルリサイクル技術^{*2}を活用した資源循環の推進を自治体や他企業と連携して行い、廃棄物や温室効果ガス（GHG）の削減に取り組んでいることが評価されたものです。

・日化協のレスポンシブル・ケア賞は、わが国のレスポンシブル・ケア活動の普及や活性化に貢献した企業や個人などを表彰するものです。}

日本ガイシ株式会社様が、SOMPO アセットマネジメント株式会社が運用する「SOMPO サステナビリティ・インデックス」の2025年度の構成銘柄に選定されました。今後もセラミック技術を通じた持続可能なご発展が期待されます。

・「SOMPO サステナビリティ・インデックス」は、ESG（環境・社会・ガバナンス）で優れた取り組みを行う企業で構成された株式インデックスです。年金基金や機関投資家向けの「サステナブル運用」の基盤として活用されており、2025年度は約300社が選定されました。}

皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

<各関係機関と組織から> ~5月から8月までのイベントやニュース~

*ベルギー大使館

5/21-6/3 大阪でベルギーフェアを開催

大阪のあべのハルカス近鉄本店でベルギーフェアが開催されました。ベルギーの様々な商品が販売され、トークショーや演奏など様々な催しも開かれました。



- 6/5-11 アストリッド王女殿下、ローレンツ王子殿下の来日
両殿下は、今回の滞在中に東京・長崎・大阪を訪問されました。大阪では万博会場を訪れ、ベルギーパビリオンをはじめ、いくつかのパビリオンを見学されました。

***ルクセンブルク東京貿易投資事務所**

- 5/26 - 5/30 アンリ大公殿下がルクセンブルク経済使節団を率いて来日。5/30 が大阪・関西万博でのルクセンブルクのナショナルデーにあたり、現地で式典が催されました。今回の使節団には、ベッテル副首相兼外務・対外通商大臣、バックス防衛兼交通・公共事業大臣が同行し、ルクセンブルク商業会議所が構成する企業使節団も100社近く来日しました。
- 6/10 - 6/12 ジル・ロート財務大臣来日
- 6/17 - 6/18 ルクセンブルクで開催されてテックイベント『Nexus 2025』に、2社の日本企業（エアロセンス株式会社と株式会社Citadel AI）がルクセンブルク政府の招待で出展。オープニングセレモニーには、楽天グループ株式会社 代表取締役会長兼社長の三木谷 浩史氏が登壇されました。パネルセッションには、GFTN Japan の鬼頭 武嗣氏も登壇。
- 7/14-7/18 ギヨーム皇太子殿下がルクセンブルク経済使節団を率いて来日予定。オーベルタンデジタル化・研究・高等教育大臣が同行するほか、「宇宙」「テック」「ヘルス」をテーマに構成された企業使節団も来日を予定しております。
- 7/16 ルクセンブルクパビリオン内にて、宇宙イベント「スペースアフタヌーン」を開催予定。
- 7/17 ルクセンブルクパビリオン内にて、循環性経済をテーマに「サーキュラーエコノミーカンファレンス」を開催予定。

***ベルギー・フランダース政府貿易投資局**

- 6/15-20 フランダース・ウィーク
6月15日（日）から20日（金）まで、大阪万博におけるフランダース・ウィークが開催されました。開催期間中、フランダース政府首相 マティアス・ディペンダーレ氏が率いるミッション団が来日し、企業、ナレッジセンター、業界団体など、フランダースから33の団体が参加しました。ディペンダーレ氏はフランダースに投資している日本企業を訪問し、大阪万博では多数のパビリオンを視察しました。他の訪問団体のプログラムは、ネットワーキングイベント、日本の関連団体への訪問、そして希望者向けの個別ミーティングプログラムで構成されました。また、東京エレクトロンとIMEC、RISE-AとIMEC、日本農薬株式会社とアントワープ大学、ANA Cargo・関西国際空港・NIPPON EXPRESS ホールディングスとPharma. Aero・アントワープ大学などの団体間の協定調印式も行われました。最終日には、ミッション団による2つのパネルディスカッションで、大阪万博における健康とウェルビーイングをテーマにしたウィークが開幕しました。最初のパネルでは、大学、戦略研究機関、民間セクターから13名の講演者が登壇し、2番目のパネルでは、ルーヴェン大学、アントワープ大学、アントワープ大学の間で掘り下げた議論が行われました。



*ベルギー王国ワロン地域政府貿易・外国投資振興庁

5/25-30 「ワロン・ブリュッセル ウィーク」に参加。

大阪・関西万博ベルギーパビリオンにおいて、ワロン地域とフランス語圏の豊かな文化、伝統、美食、技術と革新をご紹介する「ワロン・ブリュッセルウィーク (La semaine Wallonie-Bruxelles)」が開催されました。これに合わせて、アドリアン・ドリモンワロン地域政府首相及びエリザベート・デグリスフランス語共同体政府首相が率いるワロン地域およびフランス語圏から、政府、企業および学術関係者の約80名からなる訪問団が来日しました。期間中、訪問団は万博会場のほか、東京、名古屋、京都、大阪、神戸、姫路および広島の各地を訪れました。各地において、自治体、研究施設、大学等の訪問、日本企業との面談、セミナーの参加など、各種の活動を通じて、日本との経済および学術交流関係の強化を図りました。

<https://www.wallonia-osaka.be/ja/wallonia-brussels-week/>

6/14, 15 「欧州留学フェア」に参加。

6/14 東京会場 法政大学 市ヶ谷キャンパス

6/15 大阪会場 関西大学 千里山キャンパス

<https://ehf-japan.org/>

7/26 「JASSO 海外留学フェア 2025」に参加。

11:00AM-4:30PM 赤坂インターシティコンフェランスセンターの4階

<https://www.jasso.go.jp/about/press/jp2025052601.html>

6/29, 7/4 「EU フィルムデイズ」(欧州連合(EU)加盟国の在日大使館・文化機関が選んだ近年の注目作品を一挙上映するユニークな映画祭)に参加。

EU フィルムデイズ 2025 では、それぞれの EU 加盟国から生まれた新旧のアート・アニメーション作品を紹介することで、観客のみなさんにヨーロッパの新たな文化的多様性を発見する機会を提供。

作品 「ドンとDJの大冒険」

東京会場@シアター・イメージフォーラム

6/29(日) 18:45 , 7/4 (金) 16:30

<https://eufilmdays.jp/year2025/>



*BLCCJ (ベルギー・ルクセンブルグ商工会議所)

5/8-11 ベルギーショップ @ベルギーウィークエンド横浜 (山下公園) *ITIC と BLMC が援

5/20 大阪万博: ベルギーとルクセンブルクパビリオン訪問 *JBS 合同

5/22 日白協会兼商工会議所 (BJA) & BLCCJ EXPO ウェビナー

シリーズ 第2回 「A talk with Belgian Pavilion Director Myriam Cops」

5/26 5月のビアギャザリング@L'abreuvoir トラフ

5/28 Kansai International Meishi Exchange@コンラッド大阪

6/2 第19回 フランス商工会議所とスイス商工会議所との合同ゴルフトーナメント @多胡CC 6/5 Meet the Boss: メットライフ生命保険株式会社 CEO のディルク・オステイン氏 登壇 ・6/12 BLCCJ 初の女性限定ディスカッションサークル *後援: 駐日ベルギー王国大使館



6/16 6月のビアギャザリング@BBC アントワープポート

6/18 BLCCJ フラグシップセミナー 第21回

「Delighting Customers in Japan」 登壇者：シャネル合同会社 ギエルモ・グティエレス社長、ピエール・ファール・ラボラトリーズ 日本市場総責任者 フィリップ・ジャルダン氏



DATE WEDNESDAY, 18 JUNE, 2025
TIME 6:30 PM - 9:00 PM
LOCATION L'ESPACE@CCIF3



CHANEL
GUILLERMO GUTIERREZ
CEO



LABORATOIRES
Pierre Fabre
PHILIPPE JARDIN
Country General Manager Japan

6/24 BLMC 主催プレゼンテーションおよびネットワーキング・レセプション

6/26 商工会議所間合同 CLIC ネットワーキングイベント：Tokyo Comedy Bar

7/10 BLCCJ スターターズ：「Thriday」 ネットワーキングナイト@L'abreuvoir トラフ

7/22 7月のビアギャザリング@L'abreuvoir トラフ

7/31 商工会議所間合同 サマー・カクテル 2025@ヒルトン東京

8/20 大阪・関西万博 ベルギーおよびルクセンブルクパビリオンの館長による特別対談
*アジアのベルギー・ルクセンブルグ商工会議所 (BLCC) 共同企画

<総会・講演会・ネットワーキングの写真>









ソルベイ・キャッスル 今は公共の施設

以上
BLMC オフィス・マネージャー 井宮 さおり